

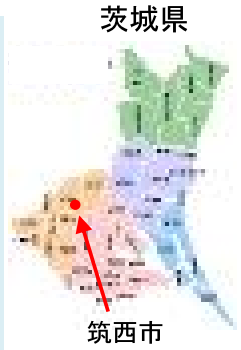
地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 水稻を主体とした平地農業地域
- 基盤整備により生産基盤の強化が進み効率的な水稻作付が可能となっているが、担い手の高齢化や後継者不足が危惧され、新たな担い手の確保と農地集積・集約化が課題となっている地区

【支援内容・背景】

- 農家の高齢化による離農等に対応するため、担い手への農地集積や、経営規模に見合った機械等の導入を支援する必要がある。
- 助成対象者は、地区内を中心に水稻、麦、大豆を栽培する大規模経営体であり、さらなる経営規模拡大と輸出用米の出荷量増加を目指していることから、経営力強化と作業の省力化を図るため、機械の導入を支援。



助成対象者「個人〇氏」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 昭和51年 営農開始
- 平成18年 経営改善計画の認定
- 令和3年 米輸出開始

《事業活用の背景》

○ 水稻の輸出と経営規模の拡大を図るためには作業の効率化及び省力化が不可欠であるため、効率化・省力化に資する高性能機械を導入。

【事業実施時の状況】
〈R3年度〉

- 付加価値 35百万円
- 経営面積 99.1ha
- 環境への配慮
化学肥料の使用
43kg/10a
- 輸出用米 6.5t

《事業による整備内容》

- トラクター 1台
- 汎用遠赤乾燥機 1基
- 遠赤乾燥機 1基
- 粃摺り機 1基
- フレコンスケール 1基

事業費 21,746千円
(国費 9,886千円)

【現在の経営状況】
〈R6年度〉

- 付加価値 47百万円 (134%)
- 経営面積 114.1ha (115%)
- 環境への配慮
化学肥料の使用減
40kg/10a (7%削減)
- 輸出用米 66.0t (1015%)

事業の
効果

《対象者》 水稻の輸出及び経営面積の拡大に伴い、付加価値額及び売上高の増加が実現。
《地区》 地域における経営力強化に向けた取組のモデルとして確立。地域への波及を期待。

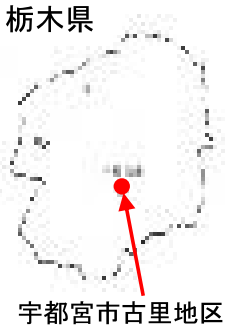
地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 古里地区は、鬼怒川水系を利用した水田が広がる都市的地域であり、水稻、麦、大豆、いちご、アスパラガスなどが盛んな地区である。
- 新規就農者の確保に加え、担い手の経営規模の拡大や大規模な担い手の確保が課題となっている。

【支援内容・背景】

- 少子高齢化等による地域内の農業者の減少が進む中で、地域農業の維持・発展に向けて、新規就農者の確保や大規模な担い手の育成を図る。
 - 助成対象者は、地区内で大規模に水稻・麦・アスパラガスを営む法人であり、近年、経営面積を急速に拡大している。併せて、新規就農を目指す者を研修生として受け入れ、技術の指導を行うなど。新規就農者の育成支援にも積極的に取り組んでいる。
- そのため、地区における大規模経営モデルとして育成・支援。



助成対象者「株式会社 S」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成 元年 経営移譲
 - 平成 7年 経営改善計画の認定
 - 平成30年 法人化
 - 令和 4年 経営面積を大幅に拡大
- | | H30 | R4 |
|---------|-------|----------|
| ・水稻 | 5.3ha | → 10.1ha |
| ・大豆 | 3.2ha | → 6.2ha |
| ・大麦 | 3.2ha | → 6.2ha |
| ・アスパラガス | 32a | → 56a |
| 計 | 12ha | → 23ha |

《事業活用の背景》

○ 経営面積を拡大していく中において、既存の機械のみでは作業効率に限界を感じていた。今後の経営面積の拡大に向け、乾燥調製や選別作業の効率化に資するため、乾燥調製機械・選別機を導入。

【事業実施時の状況】
〈R4年度〉

- 付加価値 7,830千円
- 経営面積 23.36ha

《事業による整備内容》

- | | |
|---|---|
| ○ 乾燥機 2台
事業費 3,600千円
(国費 1,636千円) | ○ フレコンバックスケール 1台
事業費 1,790千円
(国費 813千円) |
| ○ 粳摺り機 1台
事業費 1,051千円
(国費 477千円) | ○ 粳搬送機 一式
事業費 1,350千円
(国費 613千円) |
| ○ 色彩選別機 1台
事業費 3,201千円
(国費 1,454千円) | ○ アスパラ自動選別機 1台
事業費 560千円
(国費 254千円) |

【現在の経営状況】
〈R6年度〉

- 付加価値額 31,590千円
(403%)
- 経営面積 31.53ha (135%)

事業の
効果

《対象者》 機械の導入により、作業効率化が図られ、経営面積の拡大及び付加価値額の増加が実現した。

《地区》 地区内の農地が大規模な担い手に集約され、また、研修生が新規就農し、新たな担い手の確保がされるなど、地域農業の維持・発展が図られている。

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 国内有数の生産量を誇るブドウを中心とした果樹農業が盛んな中間農業地域
- 急速な高齢化や農業従事者数等の減少に伴い地域の担い手が不足し、遊休農地の拡大が進んでいるため、担い手の確保・育成が課題となっている地区

【支援内容・背景】

- 担い手への農地集積を図るため、生産の効率化と付加価値増大に対する支援が必要。
- 助成対象者は大規模な果樹経営を営んでおり、耕作者不在の農地を取得し、経営面積を拡大することで、地域の農地の受け手として大きく貢献している。また、スマート農業機械等を積極的に活用し、作業の効率化と生産物の品質向上、収量増大にも取り組んでおり、更なる経営強化を支援する。



助成対象者「株式会社M」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 令和元年 経営移譲
- 令和3年 法人化(株式会社)
- 令和3年 経営改善計画の認定

《事業活用の背景》

○ 経営基盤の強化を図るため、ブドウ栽培の効率化と生産物の価値向上が必要。このため、病害による被害軽減により生産物の品質向上と売上高の増加が期待できる設備を導入。

【事業実施時の状況】
〈R4年度〉

- 付加価値 19百万円
- 経営面積 2.1ha
- 農産物単価
ブドウ 4,000円/kg

《事業による整備内容》

- 雨よけサイドレスハウス 2棟 2,600㎡
(間口5.6m×6連棟×最大30m、
間口6.3m×6連棟×最大51m)
- 事業費 32,697千円
(国費 13,637千円)



【現在の経営状況】
〈R6年度〉

- 付加価値 125百万 **(658%)**
- 経営面積 2.9ha **(138%)**
- 農産物単価
ブドウ 5,000円/kg **(125%)**

事業の
効果

《対象者》 雨よけハウスの整備により、売上高が増加し経営基盤が更に強化された。

《地区》 地域の農地の受け手となる中心的な経営体の経営基盤の安定化により、担い手への農地集積を推進することができた。